

平成23年度川内市医師会事業計画

基本方針

政権運営において馬脚を現した民主党では、国政の混乱は続くであろう。
経済は持ち直しの感はあるものの国際情勢によるところが多く、予断を許さない。
医療界では適正化の名目による医療資源の集約化、効率化の方向性に変化は望めない。
医師会が自発的に担っている住民の疾病予防、健康管理という地道な役割を果たすことが難しくなり、医師不足も重なり地域医療は崩壊へと向かう。

この流れは医療供給体制の変化という歴史の一頁となる。

これらの背景を踏まえながらの事業遂行となる。

課題として下記を挙げる。

- ①公益法人移行への事務作業の推進
- ②看護学校のあり方についての検討の継続
- ③特定健診の受診率向上への協力
- ④PET導入の可能性についての検討
- ⑤診療報酬改定への対応
- ⑥会員の経営安定への寄与
- ⑦在宅医療の推進

従来の業務の健全な経営と運営に努め、日医、県医に意見の具申をしながら連携をとる。
地域への貢献の理念を追求しつつ、会員結束し秩序ある団体として地域での信頼を確保したい。

会員の皆様のご理解とご協力をいただきたい。